

令和4年度 パブリックコメント意見募集結果(地域防災計画・水防計画)

政 策	件 名	ご 意 見	町 の 考 え 方
地域防災計画	災害対策本部の設置場所・庁舎等の災害対策本部機能の確保について	本庁舎に設置すると規定しているが、本庁舎自体が浸水想定区域である。さらに言えば新町一帯が浸水した場合には厚沢部消防署、厚沢部駐在所、国保病院、役場横の備蓄倉庫の全てが浸水してしまう。その場合を想定した防災計画(予備の災害対策本部、浸水地域でない場所の備蓄倉庫、浸水時の救助に備えたボートや船外機の備え)の想定は必須と考える。	今後の検討課題とさせていただきます。
	住民に対する広報等の方法について	広報車でのお知らせとともに町ホームページでの緊急情報発信欄の充実を強く望む。それに加えて災害時に備え、SNSアカウントや町公式LINEアカウントの運用を普段から活用すべきである。理由としては災害時に突然アカウント開設したり、普段使いをしていないのに災害時に急に活用しようとしてうまくいくはずがないし何よりも信頼性に欠ける。江差町公式LINEの現在の運用方法が個人的にも助かっており、厚沢部町で導入する際にもとても参考になると思う。	他市町村の導入状況を鑑みて、現在町公式LINEアカウントの導入を検討中です。
	食料の供給について	DBO方式で公募された給食センターは、設計段階から災害時の炊き出しにも対応できる施設として作られたはずである。にもかかわらず運営管理等の項目の中に「給食センターを活用するなど」と言及されているのみ。食料の供給について給食センターの位置づけを明記すべきではないか。	給食センターの指定管理会社と、災害時の炊出し実施への協力を想定した災害協定を締結済ですが、発災の状況により担う役割は変化するため、現在のところ詳細な位置づけをする予定はございません。
水防計画	鵜ダムについて	一般住民に対する周知(13カ所に設置したサイレン及び警報車の拡声器による)を行う」とあるが、令和4年6月29日朝に実際にサイレンの吹鳴があった。町民は不安になったと思われるため、周知方法を工夫してもらいたい。江差町のように町公式LINEアカウントが運用されていれば事前のもっとたくさんの住民へサイレン吹鳴について周知できたであろう。	ダムのサイレン吹鳴及び警報車アナウンスをどのような時に行うのか、広報を活用し周知を図る予定です。 また、他市町村の導入状況を鑑みて、現在町公式LINEアカウントの導入を検討中です。